

第5期 『耕人塾』で目指しているもの

『耕人塾』がスタートして今年で5年目を迎えます。『耕人塾』では、石巻地域の中・高校生の「人間力(徳・体・知)」を磨き、地域社会に貢献する人材育成を目指しています。併せて、大学生や市民の学びの場にしたいと思っています。その指導指針は次の3点です。

- ① グループ討論や実践活動を通して「人間力」を向上させ、社会貢献への高い「志」を持たせる。
- ② 「文・武・楽(学問・武道・スポーツ趣味)」の講話や体験を通して、人間的な幅と深さを身に付けさせる。
- ③ 日本の伝統文化を体験させ、自然や郷土を愛する心を育て、礼儀作法を身に付けさせる。

昨年度から、石巻専修大学、宮城県教育委員会、石巻市・東松島市・女川町教育委員会の後援をいただき、多くの方々からご支援をいただけてきました。今年度は、これまでの成果と反省を生かし、「世界に誇れる石巻地域にしよう パートⅡ」というテーマの下、講話や討論で「人間力」を磨くと共に、塾生の主体的活動や実践活動を重視した研修にしたいと考えています。「世界に誇れる石巻地域」にするためには、自然の美しさや歴史的な名所も大事ですが、明るいあいさつが交わされるまち、ゴミの落ちていない清潔なまちなど、さりげない優しさや思いやりがあふれているまちのことだと思っています。

そこで、『耕人塾』の実践活動の柱を「あいさつ・清掃・ごみ拾い」としました。「世界に誇れる石巻地域」にするためには、このような当たり前の活動の質を高め、より素晴らしいものにしていくことが大切だと思います。いつでもどこでも誰とでも明るく爽やかなあいさつが交わされ、自然も、道路や公園もきれいに清掃が行き届いていて、ごみが落ちていない清々しい石巻地域にすることが、「世界に誇れる」ことの土台になると信じています。

さらに、感動や楽しさのある活動も取り入れていきたいと考えています。特に、8月11日(木)・12日(金)は旭山のコロボックルハウスでの1泊2日の宿泊研修を予定しています。塾生のアイデアも取り入れながら、楽しく達成感のある研修にしたいと思っています。

塾生の皆さんは、生徒会活動や部活動、学校の勉強等で多忙な時期ですが、自分の「人間力」を磨き、地域や社会に貢献しようという高い志をもって集まったことに敬意を表します。また、お子様の送迎をしていただく保護者の方々に深く感謝申し上げます。私たち指導者も若い人材を育てるために全力を尽くしたいと決意を新たにしています。『耕人塾』で育った人たちが、3年後、5年後、10年後に石巻地域を牽引する人になってくれることを期待しています。

「志を立つ」(橋本左内「啓発録」から)

幕末の志士である橋本左内は15歳(満14歳)の時に自分の生き方の指針として記した5か条が「啓発録」です。その中に「志を立つ」があります。左内は「志とは、自分の生き方の決意を固めることである。志を立てるには、聖賢(せいけん)の教えや歴史の書物を読んで、その中から深く心に感じた部分を書き抜いて壁に貼り、いつもそれを眺めて自己を省みて、自分の足らぬところを努力することが大切である。そして、自分が少しずつ前進するのを楽しみとすることである。」と述べています。塾生の皆さんも各自の「志」を立て、今日から新たな自分をつくっていくために歩み出しましょう。皆さんがどのように成長するか楽しみです。

「世界に誇れる石巻地域にしよう」

最近、世界各国で活躍している日本人を取り上げたテレビ番組が多いように思います。その人たちは、技術者であったり、農業経営者であったり、主婦であったりと多士済済（たしせいせい）です。その人たちの考え方や生き方に共通していると私が感じたのは次の3点です。

- ① 高い志をもち、それを達成するために強い意志で日々努力をしていること。
- ② 自分の境遇をすべて受け入れて、前向きに生活し、人生を楽しんでいること。
- ③ 周りの人に感謝し、人のために自分にできることをさりげなくやっていること。

このような人の生き方を見ていると困難なことがあっても勇気が湧き、心が明るくなります。このような人は自分のためだけではなく、周りのことも大切に生活をしています。これは『耕人塾』の趣旨にも合致し、皆さんにもぜひそのような生き方をしてほしいと願っています。しかし、私たちは普段の生活の中で、ただただと無駄な時間を過ごしていることが多くあります。7月6日（水）の河北新報「声の交差点」に仙台市青葉区の中学生（15歳）太田聖那君の「青春の一瞬大切に刻む」という文章が載っていましたので紹介します。

最近、気が付いたら長い時間が過ぎていたり、何もせずに時間を過ごしてしまったりすることがある。過ぎてから後悔が残ることもある。いつでも充実した時間を過ごせるわけではないと分かってはいるが、このままではもったいないのではないかと、思えてきた。

「時は金なり」という言葉がある。読んで字のごとく、時間はお金と同じくらいの価値があるという意味だ。しかし、実際はいくら巨万の富を築いたとしても、時間は買えない。むしろ「金より時なり」と言うべきなのではないか。そして、そのような無駄に過ごすことは、できればなくしたいと、僕は改めて感じた。

今は実感が湧かないが、中学・高校という青春の時間は、人生の中でも大きく思い出に残るようなものであるはずだ。また、生きている間のどんな一瞬の出来事でも、人生に刻まれていく。僕は限りある時間を、より特別で有意義なものにできるようにしていきたい。

太田君の「中・高校生という青春の時間は、人生の中でも大きく思い出に残るようなものであるはずだ。僕は限りある時間を、より特別で有意義なものにできるようにしていきたい」という決意に感動を覚えました。過去を取り戻すことはできないし、未来を思い悩んでもどうにもなりません。私たちは「今」の一瞬一瞬を生きているのです。将来への夢や高い志をもち、「世界に誇れる石巻地域」にするために、「今」私たちにできることは何かが問われているのだと思います。実行するのは「今」です。只今現在の一瞬が大事なのだと思います。

「私にできることはありませんか」（『耕人塾』塾生の言葉から）

「耕人塾」運営委員長の田中先生から次のような報告がありました。昨夜、塾生Oさんから電話があり、「第3回と第4回の耕人塾は出席しますが、8月に外国に行くことになっているので宿泊研修は欠席します。宿泊研修までに私にできることはありませんか？」このような電話に、田中先生が感動して私に話してくれたのです。私はこの話を聞いて、とてもうれしくなりました。塾生の皆さん一人一人がOさんのようなになったら素晴らしいですね。私もOさんのようになりたいと強く思いました。「世界に誇れる石巻地域」とはOさんのような人が一人でも多くなることではないかと思えます。

